

## 地球温暖化防止対策の推進

～二酸化炭素等の排出量の削減～

## 【重点目標の達成状況】

## ■二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減

【目標：排出量を1990年レベルに比べ6%削減】

2003年度の市内の温室効果ガスの総排出量は、1990年度と比べ4.2%の減少

本市では、2004年3月に策定した「川崎市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき地球温暖化防止への取組を推進しています。また、夏季の省エネ対策を始めとする様々な実践活動の励行を市民・事業者へ積極的に呼びかけています。

## みんなでできる省エネ・エコドライブ

地球温暖化の原因となる温室効果ガスは、電力やガスを使用する日々の家庭生活、行楽地などへ出かける時に乗る自動車などからも発生します。

そこで、温暖化を防止するためには、なるべく家庭でも無駄なエネルギーを使わないことや、エコドライブを実施する（自動車ではなく公共機関をできる限り利用することが1番ですが）ことがとても大切です。

その主な取組例として次のようなものがあります。是非チャレンジしてみてください！

## ◇省エネ

- ・エアコン：設定温度を夏は28℃、冬は20℃にする。
- ・照明：不要な照明はこまめに消す
- ・テレビ：見ないときは消す  
画面が明るすぎないようにする
- ・洗濯機：洗濯はまとめてする
- ・ガス給湯器：食器を洗うときは低温にする



## ◇エコドライブ

- ・無駄なアイドリングはやめる
- ・タイヤの空気圧を適正にする
- ・急加速・急発進しない
- ・暖機運転をしない
- ・余計な荷物を積まない
- ・惰性走行を心がける



## ・二酸化炭素

2003年度の排出量は、2,376万トンCO<sub>2</sub>で、1990年の排出量と比べて、総量で約4.2%の増加

## ・メタン

2003年度の排出量は1.5万トン（二酸化炭素換算）で、基準年（1990年度）と比べると19.4%増加

## ・一酸化二窒素（亜酸化窒素）

2003年度の排出量は24.2万トン（二酸化炭素換算）で、基準年（1990年度）と比べると23.4%増加

## ・ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）

2003年度の排出量は5.8万トン（二酸化炭素換算）で、基準年（1995年度）と比べると41.6%減少

## ・パーフルオロカーボン類（PFCs）

2003年度の排出量は、4.0万トン（二酸化炭素換算）で、基準年（1995年度）と比べると89.3%減少

・六ふっ化硫黄（SF<sub>6</sub>）

2003年度の排出量は、30万トン（二酸化炭素換算）で、基準年（1995年度）と比べると85.1%減少

市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比

